

テノール歌手 **中島 康晴** 先生による



ミニコンサート & 公開レッスン

日時 2017年12月4日(月)18:00~19:20

会場 音楽館ハンセン記念ホール

ミニコンサート プログラム(予定) ピアノ 松川 儒 先生(玉川大学芸術学部准教授)

G.ドニゼッティ 作曲 歌劇「愛の妙薬」より “なんと彼女は美しい”

G. Donizetti / *L'elisir d'amore* - “Quanto e' bella”

C. F.グノー 作曲 歌劇「ロメオとジュリエット」より “ああ、太陽よ昇れ”

C. F. Gounod / *Romeo et Juliette* - “Ah! leve-toi, soleil”

ほか

公開レッスン

受講生 遠藤 萌香(音楽科2年) ピアノ 庄子 三未(音楽科1年)

受講曲 W.A.モーツァルト 作曲 歌劇「羊飼いの王様」より “彼女を愛そう”

W.A. Mozart / *Il re pastore* - *L'amero sarò costante*

中島 康晴 先生 (リリック・テナー) プロフィール

東京都出身、日本を代表するオペラ歌手。幼少よりピアノを始め中学・高校はブラスバンド部に所属。東京藝術大学在学中に、イタリア・ボローニャに留学し往年の名テノール ジャンニ・ライモンディに師事。東京藝術大学声楽科を首席で卒業し、大学院在籍中に日伊声楽コンクールとイタリア声楽コンクールに連続優勝。リクルートスカラシップ、ロームミュージックファンデーション奨学金を得て、ミラノのヴェルディ国立音楽院へ留学、数々の国際コンクールに入賞後、スカラ座の給費研修生としてソリストコースで世界的プリマドンナ故レイラ・ゲンチェルの元で研鑽を積みディプロマを取得。

ヴェルディ『オベルト』リッカルド役で日本人テノールとして初めてオペラの殿堂スカラ座に26歳の若さで主役デビューを飾る。これまでR・シュトラウス『ばらの騎士』テノール歌手役、ゼッファイリ演出プッチーニ『ラ・ボエーム』ロドルフォ役、『パリ伯爵、ウーゴ』のウーゴ役、ヴェルディ『2人のフォスカリ』ヤコポ・フォスカリ役、ポネル演出『セヴィリアの理髪師』アルマヴィーヴァ役でスカラ座に出演。特に『2人のフォスカリ』は世界的指揮者リッカルド・ムーティに抜擢され、ロッシーニ『モーゼとファラオ(仏語)』のアメノフィス役でムーティと再共演、2003/04シーズンのスカラ座オープニング公演を飾っている。

世界でも数少ない確かなベルカント発声の技術と幅広い音域、特に中・高音域の美しい響きは海外でも高い評価を受ける。

2016年より日本での演奏活動にも力を入れている。

本年10月28日に愛知県芸術劇場で、11月5日に大分県 ICHIKO ホールで「ばらの騎士」のテノール歌手役で二期会オペラデビュー予定。ミラノ在住。二期会会員。



入場無料

主催 宮城学院女子大学学芸学部音楽科

お問い合わせ 〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘 9-1-1 TEL/FAX 022-277-6130

E mail music@mgu.ac.jp URL <http://www.mgu.ac.jp/~music/>